

K.I.T.虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

- ※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期	VOD閲覧
オペレーションズマネジメント演習		Z 219	1 単位	4 学期	学内・学外
Operations Management Practicum					
科目分野		課程領域			
オペレーション		ビジネスマネジメント専門科目			
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー			
上野善信	-	メールアポイントにて随時			

関連している科目(履修推奨科目)

オペレーションズマネジメント要論	オペレーションズマネジメント特論 1	オペレーションズマネジメント特論 2
------------------	--------------------	--------------------

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

実際の問題を取り上げ、PC上でモデリングとシミュレーションを行うツール(System Dynamics)を用いて、①問題点の把握と問題の構造理解、②改善策の立案と具体化、③定量的/定性的効果の予想、④課題の認識、などを行う。ツールについては、講師が受講生の選択した課題に対するサンプルモデルを作成することで、理解を深めるよう支援する。

例題による演習

- ・ 需要予測と在庫管理
- ・ 生産計画～プロダクトミックス最適化
- ・ 生産スケジューリングと最適化
- ・ MPR～調達計画

実際の課題による演習

- ① 問題点の把握と構造の理解
- ② 解決の方針、具体的な解決策の検討
- ③ コスト、定量的/定性的効果の予想
- ④ 実現に向けた課題の認識

到達(修得)目標

関連講義を通じて修得したフレームワーク・ツール・知識などを、実務に適用できるよう定着をはかる。

受講対象者

事業部門、管理部門、経営企画に携わる方 等

履修上の注意事項やアドバイス

他のオペレーションズマネジメント科目の内容の知識を要していること

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー	○	Z2: 独創力	○	X2: 構想	○
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント		Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力		X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力		X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プラクティカム

イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール
1		

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		評価の要点
出席・受講態度	10%	毎回、事務室より出席簿を準備する。 クラス貢献では、積極的な発言内容を評価対象とする。 演習／宿題／プレゼンテーションはそれぞれ重要な評価対象となるので、期日厳守で提出すること。
クラスでの発言	20%	
演習／宿題の提出	30%	
期末プレゼンテーション	40%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	適宜配布	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	「生産マネジメント入門①<生産システム編>」藤本隆宏（日本経済新聞出版社） 「需給マネジメント—ポストERP/SCMに向けて」松井正行（朝倉書店） 「競争戦略論」青島矢一他（東洋経済新報社） 「サプライ・チェーンの設計と管理」D. スミチ他（朝倉書店） Matching Supply with Demand, Cachon・Terwiesch, McGraw-Hill	
参考URL		
適宜紹介予定		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	<例題による演習> ・需要予測と在庫管理 ・生産計画～プロダクトミックス最適化		上野	180分
	イベント	・演習		
3.4	<例題による演習> ・生産スケジューリングと最適化 ・MRP～調達計画		上野	180分
	イベント	・演習		
5.6	<実際の課題による演習> ・問題点の把握と構造の理解 ・解決の方針、具体的な解決策の検討	対象を抽象化して、モデルで表現する。	上野	180分
	イベント	・プレゼンテーション		
7.8	<実際の課題による演習> ・コスト、定量的／定性的効果の予想 ・実現に向けた課題の認識	プレゼン準備	上野	180分
	イベント	・最終プレゼンテーション		

※ 講義日程は、学事ポータルでの講義日程表をご参照ください。
 ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
 ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。